

クロサギ

Egretta sacra sacra
(Gmelin)

コウノトリ目
CICONIIFORMES

サギ科
Ardeidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 海岸部の岩棚で繁殖するが、磯釣りなど、人の接近による繁殖への影響が懸念される。生息数が減少している。

県内分布 全域の岩場、干潟、河口などに生息する留鳥。

分布域 本州中西部、四国、九州、琉球諸島の海岸部で留鳥。
朝鮮半島南部、中国南部以南の東南アジア全域では留鳥。

生息環境 海岸の岩場、干潟、砂浜に生息し、魚やカニ、貝類などを食べる。繁殖は局地的である。

現状 観察頻度が少なくなっている。県内では白色型と黒色型の両方が生息する。

ヘラサギ

Platalea leucorodia major
Temminck & Schlegel

コウノトリ目
CICONIIFORMES

トキ科
Threskiornithidae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 情報不足

選定理由 種の総個体数が非常に少なく、県内への飛来記録も少ない。

県内分布 河川、湖沼などにごく希に飛来する冬鳥。

分布域 全国各地にごく希に飛来する冬鳥または旅鳥。
中国東北部・北部で繁殖。中国南部で越冬。

生息環境 水田、湿原、干潟、河川、湖沼などに飛来する。魚類、カニ、カエルなどを採食する。

現状 県内では、中津、宇佐、大分、佐伯で観察記録があるが滞在日数は短い。

備考 ワシントン条約附属書Ⅱ

クロツラヘラサギ

Platalea minor
Temminck et Schlegel

コウノトリ目
CICONIIFORMES

トキ科
Threskiornithidae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 IA
水産庁 絶滅危惧種

選定理由

県内分布 河川や湿地などにごく希に飛来する冬鳥。

分布域 全国にごく希に飛来する冬鳥。九州北部には毎年数羽が越冬する。
中国東部・南部、朝鮮半島の数か所の岩礁だけで繁殖。中国南部、ベトナム、日本で越冬。

生息環境 水田、湿原、干潟に冬鳥として飛来する。浅い水面で、嘴を半開きにして左右に振りながら歩き回り、嘴に触れた魚や干潟の泥中の小動物を食べる。

現状 種の総個体数が約550羽と極めて少なく、種の存続が危惧される。県内では、杵築（八坂川河口）、佐伯（女島）で観察記録がある。

備考 国際自然保護連合：絶滅寸前種